

## 学校薬剤師も学校へ行こう！！

“すべては子供たちの笑顔のために！”という言葉を知っていますか？

いま、未来を担う子供たちを育む学校は、地域社会全体で支えあう時代になってきていると言われていいます。最近の学校現場での様々な事件や事故を考えると、私たち親の世代を含めて人間関係の危機といったものを感じずにはいられません。家庭だけでは難しくなったと言われる、心身の健康作りや人間関係作りといった教育を、“学校”という志を持つ大人同士ならば必ず連携協力できるであろう場所で行うことが必要な時代になってきているのではないのでしょうか。

学校の主役は子供たちです、子供たちの笑顔は運営を含めた学校教育全般のバロメーターなのです。学校は「次世代を担う子供たちの心身の健全育成の場」でありかつ「理想を目指す地域のモデルの場」でもあってほしいと考えます。私たち大人が連携協力することはもちろんですが、特に健康についての専門家といえる学校医、学校歯科医、学校薬剤師といった学校保健関係者は可能な限り誠意と思いやりを持って学校の先生方と協働、また互いに協力して子供たちを見守り育成していきたいと思えます。そのためにも“学校へ行こう”なのです。「学校の主役は子供たち、それと学校職員」です。私たち学校薬剤師はあくまで脇役なのですが、普段から学校側とのコミュニケーションがなければとても上手く連携ができる状況を作れるとは思えません。ここ数年、講習会等で養護教諭の先生から発表をいただいておりますが私たちと学校側との窓口になっていただけるのが保健室の養護教諭の先生です。養護教諭、学校薬剤師としてお互いに相談できる関係が作れば学校薬剤師として次のステップにもつながると思えます。

では実際に、私たち学校薬剤師は今何をしているのでしょうか？何ができるのでしょうか？また薬剤師としてこれから何をすべきなのでしょうか？

今月号から学校薬剤師活動への様々な疑問と、日頃の活動を通しての薬剤師の職能である“学校薬剤師”について迫ってみたいと思えます。

### <第1回> 学校保健委員会と学校保健会の違いについて

#### 【学校保健委員会】

学校教職員、PTA役員、保護者、学校三師が参加して、「子供たちの健康」について議論をする会で、学校によって児童生徒が参加したり、地域の方が参加される場合もあります。小中学生が大人と同一に議論することは難しいと思えますが、大人と子供が同じ目的をもって活動することに意義があると考えます。

#### 【学校保健会】

市町村、都道府県に学校保健会が設置されていますが、学校保健委員会と違いその構成員は管理職、技術職、支部長、PTA代表などそれぞれの「部会代表」を中心に構成されています。

	学校保健委員会	学校保健会
設置単位	学校ごと	群市区学校群、都道府県
運営主体	学校	教育委員会
事務局	学校	地区、都道府県教育委員会、学校輪番制等
構成員	学校職員(校長、教頭、保健主事、養護教諭等) 児童生徒(児童生徒、保健委員) 保護者(PTA役員等) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師	校長部会、教頭部会 保健主事部会、養護教諭部会 学校医部会、学校歯科医部会、学校薬剤師部会 各支部代表(教育委員会等)、PTA代表等
構成員の役職		管理職、部長、代表
児童生徒の参加	あり	なし

< 5月・6月の活動報告 >

5月13日(日)

### 第58回指定都市学校保健協議会

(この協議会は、全国の政令指定都市の学校保健関係者が児童・生徒に関わる健康・安全の諸問題を研究協議することを目的とし、各都市持ち回りで年1回開催されています。)

新緑も目にまぶしい初夏の陽気の九州、会場は北九州小倉の北九州国際会議場において、指定都市学校保健協議会が開催されました。今回の協議主題は『生涯にわたって心身ともに健康で豊かな生活を送るための基礎を培う健康教育の推進』というもので、食生活の偏りや睡眠時間の減少、気力や体力の低下などから今、子供たちに健康面や体力面において様々な問題が生じていること。また少子化の進展が、人間関係の希薄化をよび子どもの心身の健全な発育、発達に深刻な影響を与えていると考えられることから、今こそ健康教育、とりわけ健康の保持増進のための実践力の育成が大変重要となってきたと考えられているのです。

では私たち学校薬剤師が何が出来るのか・・・そのヒントは午後からの分科会にありました。助言者である照屋博行先生(福岡教育大学教授)の話された中で、教育と医学(薬学)の結びつきを強くしなければならない、食育、体育、休養は免疫力(体力)をつけ病気に負けない体を作るというお話から、私たちが学校でお話する“くすりのお話”で自分たちの体は自分で守る セルフメディケーション から健康的なライフスタイルを身につけさせセルフエスティーム 健全な自尊心 を日常的に高めさせることにつながっていくのではないかと確信しました。また、今回の一番感動した事は記念講演で音楽家として活動している渡辺知子さんのコンサートでした。二度の大病を克服し、今を生きること、生命の輝など障害を抱えた子供達と一緒に素晴らしい音楽のパフォーマンスを見せて下さいました。個々の違いを認め、受け入れる事、それはいじめや差別、戦争をなくす第一歩ではないかと、そんな事を教えさせられました。このような素晴らしい大会を運営された北九州の先生方に感謝し、次大会である広島市に期待したいと思います。(参加報告 港区 夏目章子)

5月16日(水)

### 海部学校保健会総会にて講演

会場：愛西市佐織公民館研修室

演題：学校環境衛生及び薬物乱用防止教育への学校薬剤師の取り組み

講師：(社)愛知県薬剤師会理事、愛知県学校薬剤師会副会長 木全勝彦

5月20日(日)

### 第1回学校薬剤師講習会

会場：東建ホール

講義： 1 「学校環境衛生について ~ 夏期に向けた留意事項 ~」 講師 健康学習課 主査 鈴木 晴雅  
2 「食品衛生について」 講師 生活衛生課 主幹 松岡 弘行  
3 「県立高校における環境衛生検査 及び 薬の正しい使い方」 講師 県学薬副会長 木全 勝彦

5月25日(金)

### 愛知県県立高校学校保健会総会

会場：港湾会館

5月30日(水)

### 愛知県学校保健会(小中学校)評議委員会

会場：愛知県医師会館

6月9日(土)

### 日学薬東海ブロック会議

会場：ウエルサンピア伊賀(三重県伊賀市)

日学薬(杉下会長) 静岡県(齋藤県薬会長) 愛知県(村松学薬会長) 岐阜県(中村学薬会長) 三重県(吉田副会長)を中心に日学薬と4県の学薬担当で今後の学薬活動について協議を行った。

6月13日(水)

### 薬物乱用防止教室講演 - くすりの正しい使い方と薬物乱用防止(第3部会事業) -

会場：県立小牧高等学校 定時制

講師：(社)愛知県薬剤師会理事、愛知県学校薬剤師会副会長 木全勝彦